

「新報国マテリアル」に

10月から社名変更

特殊鋼メーカーの新報国製鉄は18日の臨時取締役会で、10月1日から社名を「新報国マテリアル」に変更することを決めた。3月25日の株主総会で正式に決定する。特殊鋼だけにとどまらず、機能性材料を幅広く提供する企業像を目指し「製鉄」を社名から外す。

同社は1939年に三徳工業として創業。49年に報国製鉄と合併し、社名を新報国製鉄とした。今回の社名変更では全社員が参加する方式を取り入れ、5つの候補について部署ごとに意見を集約した。

「報国」という言葉は戦前の古いイメージも連想させるが、むしろ若い世代の方が抵抗感は少なかったという。特殊鋼のブランドとしても確立していることから、残すことを決めた。